

1 単元名 日本 の 諸 地 域 関 東 地 方

2 本単元の目標

- (1) 関東地方について、その地域の特色や地域の課題を捉え、交通・通信を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、そこで生ずる課題を理解する。(知識及び技能)
- (2) 関東地方において、交通・通信の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目し、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて、多面的・多角的に考察し表現する。(思考力、判断力、表現力等)
- (3) 関東地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

3 単元の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|--|
| 知① 関東地方について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 知② 交通や通信を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関する他の事象や、そこで生じる課題を理解している。 | 思① 関東地方において、交通や通信を中核に、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 | 態① 関東地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 |

4 単元について

(1) 教材観

本単元は学習指導要領 地理的分野 内容(C)日本の様々な地域 (3) 日本の諸地域④交通や通信を中核とした考察の仕方である。ここでは「幾つかに区分した日本それぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解すること、交通や通信を中核とした事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現すること」を主なねらいとしている。具体的には関東地方において「地域の道路や鉄道、航路や航空路、通信網などの交通・通信に関する特色ある事象を中核として、産業や人口、都市などと深い関係をもっていることや、地域間の結び付きの整備が地域の課題となることなどについて考察する。」ことにより地域的特色を捉えさせる。

(2) 生徒観

本学級の生徒に対し、実態調査(令和3年*月*日実施、第2学年*組*人)を行った。その結果、振り返りの中で学習の成果を感じていなかった生徒が*人、本時で気付いたことを次の学習に生かしていなかった生徒が*人、学習に対して粘り強く取り組んでいなかった生徒が*人であった。以上のことより、本学級の生徒には主体的に学習に取り組む態度に課題があることが分かった。その理由として、つながりを意識し、粘り強い取組につながる課題の提示や学習の調整を促す活動、自分の成長を感じる振り返りの時間の確保などの手立てが不十分だったと考えられる。そこで、本単元では、学びを実感し、主体的に学習に取り組む態度を養っていききたい。

(3) 指導観

主体的に学習に取り組む態度を養うために、個別最適な学びと協働的な学びを往還する学習活動と、eポートフォリオを活用した振り返りを通して、学びを実感し、主体的に学習に取り組む態度を養う。まず、個別最適な学びと協働的な学びを往還する学習活動を通して、自ら学習の目標を持ち、課題解決に向けて粘り強く取り組み、自らの学習を調整できるようにする。次に、eポートフ

オリオを活用した振り返りを通して、短時間での意見の共有や自己の学びのフィードバックを図り、学びの成果や自らの成長を実感できるようにする。

5 単元の指導計画（7時間扱い）

| 次 | 時 | 学習内容・活動（P 個別、G 協働） | 知 | 思 | 態 | 評価方法・留意点等 |
|---|---|--|---|---|---|--|
| 1 | 1 | <p>1 学習課題を知る。 関東地方の特色をつかもう。</p> <p>2 NHK for school を視聴し、関東地方の地理的特徴を捉える。</p> <p>3 九州地方と比較し、自然環境や人口の特色を捉える。</p> <p>4 住みたい街ランキングから人気のある街について考える。(G) (1) ポイントを打つ。 (2) 理由を考える。</p> <p>5 単元を貫く学習課題を設定する。 住みやすい街とは、どのようなところだろう。</p> <p>6 龍ヶ崎市の住みやすさについて線分図で示し、理由を書く。(今までの生活経験からの視点)</p> <p>7 振り返り(今日分かったこと、より良い龍ヶ崎市にするために)を記入する。</p> | ◎ | | | <ul style="list-style-type: none"> 動画を視聴して、実際の地形の様子を捉えることができるようにする。 知①:九州地方と比較することで見える関東地方の地域的特色や課題を理解している。 【ワークシート】 九州地方と雨温図や人口分布図を比較することにより、気温の差や降水量、人口の広がり方の違いが明確になるようにする。 住みたい街ランキングの上位20位までの都市の位置について Google マップを使ってポイントを打つことによって、住みたい街の大まかな特徴を捉えることができるようにする。 |
| | 2 | <p>1 前時の振り返りを共有する。</p> <p>2 本時の学習課題を立てる。 なぜ、東京にはたくさんの人が集まるのだろう。</p> <p>3 理由が分かるところに線を引く。</p> | ○ | | | <ul style="list-style-type: none"> 前時の線分図の振り返りを生かし、本時の課題につなげられるようにする。 線分図の振り返りを、マイナスの意見、プラスの意見を分けて提示することにより、住みやすさの特徴を明示できるようにする。 知②:東京に人が多く集まる理由についてまとめられない生徒には、時刻表や通勤ラッシュの写真を提示して利用の様子に気付くようにする。 【ワークシート】 |

| | | | |
|---|---|-----|---|
| | <p>4 自分の考えをグループで共有する。共有する方法はグループで考える。(G)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・箇条書き、キーワードで書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>東京には、企業や学校が多く交通網が充実しているから。また、観光で国内や海外からの人たちも集まるから。通信網が安定してつながるから。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・5Gのエリアマップで通信網の広がりをつかえる。 <p>5 龍ヶ崎市の住みやすさについて線分図で示し、理由を書く。(企業、学校、観光客の視点)</p> <p>6 本時の振り返り(活動の良さ)、相互評価を書く。(P)</p> | | <ul style="list-style-type: none"> ・教科書に線を引き、人が多く集まる理由を見つけることで、グループ活動に自分の意見をもって臨めるようにする。 <p>○ 態①: 活動への意欲が低い生徒を見取り、電車の時刻表やラッシュ時の写真等を提示してどこに向かうかを考えられるようにし、課題意識を高める。 【観察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループでの共有は、より効果的な方法を生徒が選択できるようにする。(紙、ホワイトボード、タブレット型端末) ・表現方法が違うグループの発表を聞くことで、表現方法の良さに気付くようにする。 ・龍ヶ崎市の住みやすさについてもグループで理由を共有し、自己判断に生かせるようにする。 ・相互評価を行うことで、友達から見た自分の頑張りや良さに気付くようにし、粘り強い取組ができるようにする。 |
| 3 | <p>1 前時の振り返りを共有する。</p> <p>2 製造する工場の所在地について考える。</p> <p>3 本時の学習課題を立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>企業の工場を建てるとしたらどこに建設したほうがよいのだろう。</p> </div> <p>4 課題選択学習を行い、工場の立地場所を3か所考える。(P)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集英社 ・マクドナルド ・アマゾン ・ニッポン <p>5 自分の考えをグループで共有する。共有する方法は、スライド</p> | ○ ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・前時の線分図の振り返りを生かし、本時の課題につなげられるようにする。 ・線分図の振り返りを、マイナスの意見、プラスの意見を分けて提示することにより、住みやすさの特徴を明示できるようにする。 <p>知②: 工業地帯と交通網の発達について理解できていない生徒には、企業の動画を視聴し、原材料の輸送に着目して捉えられるようにする。 【観察】</p> <p>思①: 工場の立地場所が考えられない生徒には、建設に必要な土地や品の輸送手段に着目して考えられるようにする。 【ワークシート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が興味のある企業を調べることで、学習に粘り強く取り組めるようにする。 ・選択学習を行うことで一人一人の思いを大切に、意欲的に考えることができるようにする。 ・よく知っている企業や龍ヶ崎市にも工場がある企業を扱うことで、課題を身近に感じられるようにする。 ・グループで共有した後、共通点を見出し、キーワードでまとめられるように |

| | | | | | | | | | | | | | |
|-------|---|-------|---|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|---|---|
| | <p>で共有する。(G)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>土地が広く、地価も安い地方で、国内に運びやすい高速道路や海外から原料が届くから、港に近く、輸送しやすいところがいい。</p> </div> <p>6 龍ヶ崎市の住みやすさについて線分図で示し、理由を書く。(輸送の視点)</p> <p>7 本時の振り返り(今日分かったこと、より良い龍ヶ崎市にするために)、相互評価を書く。(P)</p> | | <p>助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループでの共有はスライドを使うことによって話し合いながら場所を考えられるようにする。 ・農作物を育てる場合についても発問することで、輸送しやすい立地条件にあてはまる近郊農業についても触れる。 ・龍ヶ崎市の住みやすさについて、グループで理由を共有し、自己の判断に生かせるようにする。 ・相互評価を行うことで、友達から見た自分の頑張りや良さに気付くようにし、粘り強い取組ができるようにする。 | | | | | | | | | | |
| 4 | <p>1 前時の振り返りを共有する。</p> <p>2 ランキングを見せ、何のランキングか話し合う。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1 東京都</td> <td style="width: 50%;">2 愛知県</td> </tr> <tr> <td>3 大阪府</td> <td>4 神奈川県</td> </tr> <tr> <td>5 埼玉県</td> <td>6 千葉県</td> </tr> <tr> <td>7 兵庫県</td> <td>8 静岡県</td> </tr> <tr> <td>9 福岡県</td> <td>10 茨城県</td> </tr> </table> <p>3 本時の学習課題を立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>なぜ、関東地方に多くの外国人が住んでいるのだろう。</p> </div> <p>4 課題から理由を予想する。選択学習で、外国人が多く住んでいる理由を考える。(G)</p> <p>5 選択学習を行い、外国人が多く住んでいる理由を考える。(G)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたい都県によってグループを編成する。 ・調べて分かったことをジャムボードに入力する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>海外の企業が集中していて、交通の便利さから都心近郊に住んでいるから。 また、留学生や技能実習生として学ぶために住んでいる。</p> </div> <p>6 調べたことをもとに、関東地方に外国人が多く住む理由についてグループで考える。(G)</p> | 1 東京都 | 2 愛知県 | 3 大阪府 | 4 神奈川県 | 5 埼玉県 | 6 千葉県 | 7 兵庫県 | 8 静岡県 | 9 福岡県 | 10 茨城県 | ○ | <ul style="list-style-type: none"> ・前時の線分図の振り返りと2校時の振り返りを生かし、本時の課題につなげられるようにする。 ・外国人の人口が多い県のランキングを提示して、関東地方にはなぜ多いのかという疑問をもつようにする。 <p>○ 思①：関東地方に多くの外国人が住んでいる理由について多様な視点で捉えられない生徒には、同じグループの生徒が作成した資料を参考にしよう助言する。</p> <p style="text-align: right;">【ワークシート】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予想を立てることで、見通しをもって課題解決ができるようにする。 ・自分が興味のある都県を調べることで、学習に粘り強く取り組めるようにする。 ・課題選択学習を行うことで一人一人の思いを大切に、意欲的に考えることができるようにする。 ・タブレット型端末を使って調べる活動の時間短縮のため、各都県の資料は準備して配布しておく。 ・ジャムボードでまとめた資料をもとにグループで話し合うように助言する。 |
| 1 東京都 | 2 愛知県 | | | | | | | | | | | | |
| 3 大阪府 | 4 神奈川県 | | | | | | | | | | | | |
| 5 埼玉県 | 6 千葉県 | | | | | | | | | | | | |
| 7 兵庫県 | 8 静岡県 | | | | | | | | | | | | |
| 9 福岡県 | 10 茨城県 | | | | | | | | | | | | |

| | | | | |
|---------|---|---|---|---|
| | <p>7 龍ヶ崎市の住みやすさについて線分図で示し、理由を書く。 (外国人にとっての住みやすさの視点)</p> <p>8 本時の振り返り(考えの変容)、相互評価を書く。(P)</p> | ◎ | | <p>知②:人口の集中と交通や通信の発達、住みやすさに関連していることについて、理解している。 【eポートフォリオ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までの線分図と比較することで、考えの変容に気付くようにする。 ・相互評価を行うことで、友達から見た自分の頑張りや良さに気付くようにし、粘り強い取組ができるようにする。 |
| 5 6 | <p>1 今までの振り返りを提示して、「住みやすい街とは」を考える。</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。 住みやすい街とは、どのような街なのだろう。</p> <p>3 個人で、住みやすい街について意見を出し、グループで考えをまとめる。(P)(G)</p> <p>4 プレゼンテーション資料を作る。(G)</p> <p>5 本時の振り返り(学習問題の振り返り)、相互評価を書く。</p> | | ◎ | <p>○ 態②:龍ヶ崎市の将来について関心をもてない生徒には、線分図をもとに龍ヶ崎市の課題を見いだすように助言する。 【eポートフォリオ】</p> <p>思①:住みやすい街について交通や通信を中核に、産業の立地や世界との結び付き、人々の流れなどに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 【eポートフォリオ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相互評価を行うことで、友達から見た自分の頑張りや良さに気付くようにし、粘り強い取組ができるようにする。 |
| 7 本時 | <p>1 本時の学習課題を確認する。 住みやすい街のプレゼンテーションを発表しよう。</p> <p>2 発表を行う。</p> <p>3 単元全体の自己評価を行う。 (1)自分の学びについて (2)選択した課題について (3)協働的な学びについて (4)関東地方について (5)龍ヶ崎市の将来について</p> <p>4 単元全体の学習満足度を記入する。</p> | | ◎ | <ul style="list-style-type: none"> ・発表を聞いて、分からないところや疑問に思ったことなど質問するように助言する。 <p>○ 態①龍ヶ崎市がさらに住みやすい街になるように、既習内容を基に主体的に地域的課題の解決策を考えている。 【eポートフォリオ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の学びを実感できるように、自己評価や相互評価などの事実の振り返りから見取れるようにする。 ・将来の龍ヶ崎市を見据えることで、よりよい社会について考えられるようにする。 ・eポートフォリオを振り返り、単元全体の満足度を考えられるようにする。 |

※ワークシート等は、こちらからダウンロードできます。

https://kyozai.ibk.ed.jp/resource/resourceDetail/tm_no/20362/spe_typ/0